

Cyber Port^(※) 普及促進に向けての要望 活動報告

中経連は、物流懇談会（座長：安藤(仁)副会長）が取りまとめた要望書「港湾物流の高度化～Cyber Port普及促進に向けての要望～」に基づき、国土交通省中部地方整備局に対して下記の通り要望活動を行った。

1. 日時：2022年3月8日
2. 場所：国土交通省中部地方整備局
3. 出席者：

中部地方整備局長	堀田 治
中部地方整備局港湾空港部計画企画官	寺園 正彦
中経連 副会長	安藤 仁
常務理事	栗原 大介



4. 主な要望項目

- ①周知・広報活動の徹底
- ②参加の動機付けとなるメリットの導入
- ③情報セキュリティの確保
- ④Cyber Portの機能拡充等利便性の向上
- ⑤NACCSをはじめとする他プラットフォームとの連携の早期実現

5. 堀田中部地方整備局長コメント

本省で5年程 Cyber Port の基本設計に関わってきた。要望書には、当時から課題として認識していた点が盛り込まれており、問題点の共有という意味では全く同感である。

具体的に指摘いただけるのは大変ありがたい。周知・広報活動の徹底は最大の課題だと認識しており、一層の強化を図りたい。今後も連携して取り組んでほしい。

6. ご参考（関係機関への説明）

上記要望活動と並行して、関係機関への説明を下記のとおり行った。

2月14日	名古屋港管理組合
2月18日	名古屋税関、 輸出入・港湾関連情報処理センター(株) (NACCS センター) 東海事務所
2月21日	名古屋四日市国際港湾(株)
3月2日	四日市港管理組合
3月10日	静岡県交通基盤部港湾局（清水港を管理・運営）
3月24日	港湾貨物運送事業労働災害防止協会

○主な意見

- ・総じて、Cyber Port 普及促進を期待する声大きい。
- ・すべての関係者が参画することで一層の効果が発揮されると思う。具体的なメリットを提示し、荷主企業、中小企業の参加促進につなげてほしい。

※Cyber Port：国土交通省港湾局が2021年4月より運用を開始した港湾物流手続きの電子化を図るプラットフォーム

(<https://www.cyber-port.net/>)

以上